【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【公開番号】特開2011-125666(P2011-125666A)
【公開日】平成23年6月30日(2011.6.30)
【年通号数】公開・登録公報2011-026
【出願番号】特願2009-299651(P2009-299651)
【国際特許分類】
Ａ４７Ｃ　9/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４７Ｃ　9/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成23年12月1日(2011.12.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
座部と、前記座部の裏面に設けられた脚部とを備えた折りたたみ式正座椅子において、
前記脚部は、前後に分割された前脚部と後脚部とを有し、収納状態においては、前記前脚部は前記座部の裏側の片サイドに収納され、前記後脚部は前記座部の裏側の他サイドに収納され、使用状態においては、前記前脚部及び前記後脚部は前記座部の両サイドから中央に向けて回動されて前記脚部を構成することを特徴とする折りたたみ式正座椅子。
【請求項２】
前記前脚部及び前記後脚部は、使用に際して閂棒又は通しボルト・ナットねじの組合せにより固定されることを特徴とする請求項１に記載の折りたたみ式正座椅子。
【請求項３】
前記前脚部には貫通孔が設けられ、前記後脚部には挿入孔が設けられ、閂棒が前側から前記前脚部の前記貫通孔を通して前記後脚部の前記挿入孔に挿入されることを特徴とする請求項２に記載の折りたたみ式正座椅子。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
図１と図８は本発明のタイプＡとタイプＢの実施例１の斜視図であって、両図ともに、向かって右手前側に両膝が脚部３又は３Ａを挟んだ状態で位置し、脚部の前端部に大きく緩やかな曲面Ｒ１を形成したので両膝頭が床面にぴたりと接する。本発明のタイプＡは、前脚部３ａには貫通孔が設けられ、後脚部３ｂには挿入孔が設けられ、閂棒４が前側から前脚部３ａの貫通孔を通して後脚部３ｂの挿入孔に挿入されることになる。